



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社イデオジ横浜プロジェクト 新築工事	階数	地上3F
建設地	横浜市中区磯子区北野2-1-1, 2-2-1, 2-3-1, 2-4-1, 2-5-1, 2-6-1, 2-7-1, 2-8-1, 2-9-1, 2-10-1, 2-11-1, 2-12-1, 2-13-1, 2-14-1, 2-15-1, 2-16-1, 2-17-1, 2-18-1, 2-19-1, 2-20-1, 2-21-1, 2-22-1, 2-23-1, 2-24-1, 2-25-1, 2-26-1, 2-27-1, 2-28-1, 2-29-1, 2-30-1, 2-31-1, 2-32-1, 2-33-1, 2-34-1, 2-35-1, 2-36-1, 2-37-1, 2-38-1, 2-39-1, 2-40-1, 2-41-1, 2-42-1, 2-43-1, 2-44-1, 2-45-1, 2-46-1, 2-47-1, 2-48-1, 2-49-1, 2-50-1, 2-51-1, 2-52-1, 2-53-1, 2-54-1, 2-55-1, 2-56-1, 2-57-1, 2-58-1, 2-59-1, 2-60-1, 2-61-1, 2-62-1, 2-63-1, 2-64-1, 2-65-1, 2-66-1, 2-67-1, 2-68-1, 2-69-1, 2-70-1, 2-71-1, 2-72-1, 2-73-1, 2-74-1, 2-75-1, 2-76-1, 2-77-1, 2-78-1, 2-79-1, 2-80-1, 2-81-1, 2-82-1, 2-83-1, 2-84-1, 2-85-1, 2-86-1, 2-87-1, 2-88-1, 2-89-1, 2-90-1, 2-91-1, 2-92-1, 2-93-1, 2-94-1, 2-95-1, 2-96-1, 2-97-1, 2-98-1, 2-99-1, 2-100-1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 竣工	評価の実施日	2022年5月9日
敷地面積	4,807 m <sup>2</sup>	作成者	新日本建設株式会社一級建築士事務所 宇津見 聡
建築面積	2,361 m <sup>2</sup>	確認日	2022年5月9日
延床面積	6,616 m <sup>2</sup>	確認者	新日本建設株式会社一級建築士事務所 宇津見 聡

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	横浜市中区に計画している工場、事務所、物販店舗の複合用途施設である。工業地域の特性に配慮し、敷地内に緑地を多く計画し、節水器具の採用を行う事で、環境負荷の低減に配慮した計画としている。	その他 0
Q1 室内環境	T-2仕様のサッシを採用し、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数30.9%としている。
LR1 エネルギー	BEIm=0.62としている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率80%としている。
Q2 サービス性能	事務所部分について、十分なフレッシュスペース(食堂)を用意し、自販機を設置している。また、壁長さ比率や積載荷重に余裕を持たせるなど、建物のサービス性能に十分配慮した設計としている。	
LR2 資源・マテリアル	自動水栓や節水型便器を採用している。また、LGS下地、OAフロアを採用するなど、資源・マテリアルについて配慮した設計としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



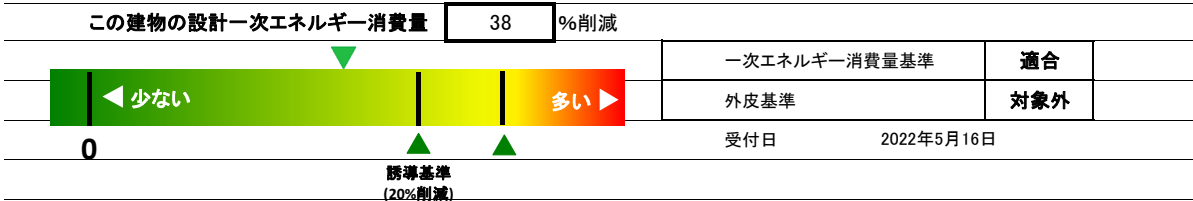
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称) (株) ケイティロジ横浜プロジェクト 新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI<sub>m</sub>=0.96

③BEI<sub>m</sub>=0.62

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯空調・給排水配管の更新対策に配慮している

⑰耐震クラスA

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
_____	_____
エネルギーマネジメントシステム導入	_____
_____	_____

# CASBEE<sup>®</sup> 横浜 | 評価結果 | 4-021



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)株式会社ケイティロジ横浜プロジェクト 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-		2.3	
Q1 室内環境					0.31		-		3.1	
1 音環境				3.4	0.15	-	-		3.4	
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-		-	
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-		-	
1	開口部遮音性能			5.0	0.61	-	-		-	
2	界壁遮音性能			3.0	0.39	-	-		-	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-		-	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-		-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-		-	
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-		2.6	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		-	
1	室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-	
2	外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-		-	
3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.37	-	-		-	
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-		-	
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-		-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-		3.0	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		-	
1	昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.59	-	-		-	
2	方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-		-	
3	昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.41	-	-		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		-	
1	昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-	-		-	
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-		-	
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-		-	
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-		3.7	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		-	
1	化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-		-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		-	
1	換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.34	-	-		-	
2	自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-	
3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.34	-	-		-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		-	
1	CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-		-	
2	喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-		-	



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
								<b>Q2 サービス性能</b>		
<b>1 機能性</b>				2.4	0.40	-	-	-	2.4	
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				1.6	0.40	-	-	-	-	
1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	
3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.34	-	-	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				3.0	0.30	-	-	-	-	
1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	
2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.33	-	-	-	-	
3	内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				3.0	0.30	-	-	-	-	
1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	
2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.0	0.30	-	-	-	3.0	
<b>2.1 耐震・免震</b>				3.0	0.50	-	-	-	-	
1	耐震性	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-	-	
2	免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				3.1	0.30	-	-	-	-	
1	躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-	-	
<b>2.4 信頼性</b>				3.2	0.20	-	-	-	-	
1	空調・換気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
2	給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
3	電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
4	機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-	-	-	
5	通信・情報設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>				4.0	0.30	-	-	-	4.0	
<b>3.1 空間のゆとり</b>				4.6	0.30	-	-	-	-	
1	階高のゆとり			5.0	0.60	-	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ			4.0	0.40	-	-	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				5.0	0.30	-	-	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>				3.0	0.40	-	-	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-	-	



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)ケイティロジ横浜プロジェクト 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.39	-	-	1.1
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0		
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				1.5	0.30	-	-	1.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.4		
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	3.9		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		3.1	0.20	-	-	3.1		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.8	0.50	-	-	4.8		
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	3.0		
<b>1 水資源保護</b>				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				3.0	0.60	-	-	3.0		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-		
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.1		
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				3.8	0.33	-	-	3.8		
<b>2 地域環境への配慮</b>				2.4	0.33	-	-	2.4		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-		
<b>3 周辺環境への配慮</b>				3.2	0.33	-	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-		
2 振動				3.0	0.33	-	-	-		
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-	-		
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		1.0	-	-	-	-		
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-	-		
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-		